

こるば開館7月に遅れ

楽膳施設 指定管理者を慎重審査

美浜町は、県と連携し「楽膳拠点施設「こるば」」を整備を進める園芸学習のオープンが、当初予定拠点内に設置した町健康の4月から7月に遅れる



4月のオープン予定が7月に遅れることになった美浜町健康楽膳拠点施設「こるば」＝同町久々子

ことを20日、明らかにした。指定管理者の候補の選定に時間が掛かったことや、同じ敷地内の県の体験施設開設日と合わせることなどを理由としている。

同日開かれた町会全員協議会で理事者が説明した。

「こるばは、食による健康づくりと農林水産業の振興を推進する目的で、町が総事業費約1億4800万円で整備した。

昨年12月に実施した1回目の指定管理者募集では県内外の2業者から応募があったが、運営条件

に合致しなかった。そのため町は2月下旬から再度募集、全国6カ所で道の駅や温泉施設を運営する「グッドスタッフ」(本社熊本県)を選定した。

町は募集を2回行ったことや慎重に審査したことから当初の予定より遅れ、「こるばと、県が整備している調理加工体験施設や栽培技術の見学施設などの連携方法を検討

するため、時間が必要」とし、オープン時期を遅らせたとしている。また、県施設の開館と足並みをそろえることで「話題性が高まる」と説明した。

町は指定管理者の指定に関する議案を3月定例会閉会日(25日)に追加議案として提案する。(藤田有美)

美浜町の健康楽膳拠点施設「こるば」 本格オープン7月に延期

指定管理者候補を選定



予定を変更して7月に本格オープンすることになった「こるば」＝美浜町久々子で

美浜町は二十日、同町久々子の町健康楽膳拠点施設「こるば」の指定管理者候補に、熊本県大津町の人材派遣会社「グッドスタッフ」を選定し、本格オープンを四月から七月に延期すると発表した。開会中の定例会に関連議案を提案する。

「こるばは地元の旬の食材を使い、健康を意識した料理などを提供する施設で、昨年の福井国体中に期間限定でプレオープン。今年四月に本格的に開業する予定で指定管理者を募集した

(高野正憲)